

腎臓病療養指導士四団体合同認定委員会 腎臓病療養指導士

宮田 久恵 先生

勤務先：JCHO 金沢病院

出身地：石川県

資格取得年：

Q1 資格取得のきっかけは何でしたか？

腎臓病療養指導士の資格が新たに始まることを知り、資格取得を目指しました。

Q2 資格取得の最大の難所はどこでしたか？

栄養士さんの領域が難しいと感じました。日常生活で摂取する量の中で、リンを多く含む順に食品を並べるなどの問題が悩みました。

Q3 この資格のやりがいは何ですか？

残念ながら資格を取得した後に、腎臓内科の担当をはずれてしまい、資格の活用はできていない状況です。

Q4 資格を取得して良かったな、と感じる事柄はありましたか？

CKD を取り巻く、他職種との連携の必要性を実感できた事です。

Q5 医師や看護師などとのディスカッションで気をつけていることはありますか？

幸い、資格を取得する以前から、薬剤師としての意見は尊重していただける環境にあり、取得前後での変化はありません。ただ、他職種同士でのディスカッションの内容が、以前よりも理解できるようになったと感じました。

Q6 患者さんに接する際に気をつけていることはありますか？

主治医の方針と、患者さんの希望に沿ってお話をすすめられるように気をつけていました。

Q7 その他、苦心していること、気をつけていることなどはありますか？

末期腎不全の方の中には、透析導入に悪いイメージを持つ方もいたため、なるべく前向きにとらえられるように配慮してきました。

具体的には、薬に関しては、透析導入になれば中止できる場合もある事などをお伝えしてきました。

Q8 この資格を目指している後進へ何かアドバイスを！

比較的取得しやすい資格だと思います。

日々の業務で培った知識を整理すれば、合格に近づけるという印象です。

Q9 この資格の取得要件をお教えてください。

薬剤師に関しての要件を挙げます

- ・ 資格取得後3年以上経過している者
- ・ 過去10年以内に通算2年以上、かつ通算1000時間以上、保存期腎臓病患者の療養指導業務に従事している事
- ・ 腎臓病内科医師の外来見学、看護師・管理栄養士による指導の見学または実施
- ・ 研修証明書、症例要約6例（ただし腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師の場合は免除）
- ・ 「腎臓病療養指導士認定のための講習会」を受講し、受講証を提出

その後、認定試験を受け、合格すれば資格が取得できます。